

## 19. にっこうすぎなみきかいどう 日光杉並木街道

選定箇所：今市～大桑、鉢石～大沢、今市～小倉（日光市）

概要：日光杉並木街道は、松平正綱、正信親子が日光東照宮の参道として、日光道中、日光道中壬生通（日光例幣使道）、会津西街道沿いに植樹し、東照宮に寄進した杉並木が続く3つの街道の総称である。現在でも約12,000本の杉が残されており、杉の巨木が立ち並ぶ景観が約37kmも続く。街道の終点である神橋のたもとと、それぞれの街道の日光神領の入口には、由緒を伝える杉並木寄進碑が建っている。碑文により徳川家康の三十三回忌である慶安元年に寄進されたことが分かる。

